

山内市長秋田へ行く 東北一の本莊豚視察



養豚事業は農家を ふとらす最善の道

私がなぜ養豚を呼び、全力を尽していかをまず冒頭を御説明申し上げます。現在の社会情勢、池田内閣の施政方針からいっても、このままだでは農家の前途が暗たんたるものです。農家の前途が暗たんたるものだと、私が五所川原市の前途が暗いというところである。云々ならば「曲り角にきた農民ではなく、曲り角に立たせられた農民」であり、

この窮地をいかに打開するかが私の最大の任務であると信じております。一言に要約すれば農家のフトコロをいかに太らせるかです。そのような意味からこれは確実だという結論に達したのが養豚事業なのでした。豚を飼うということに關連して第一に一反平均八千円前後の収入より少ない畑作が豚の飼料を植付けることによつて二万円前後の収入は確保したと、共同飼

育となればそれによつて常私自身が百姓になるのだと動を必要とするとか、販売という決着で進むことにし、面を推進するために組織を法人化し、東京、五所川原の輸送に急行トラックを運、行させるなど、なほ最終的には冷蔵設備を完備して、枝肉を販売する体制でも、ついでいかなければいけない。それによつて豚の皮を処理する工場などもたてる。この内容は養豚ほど多角的な内容をもつものはな

養豚は農家のすべてに關係があり、人間の食生活の改善面からいっても必要とされているだけに肉不足、半商の田園都市的なた。本庄市は昭和二十九年三月に市制を施行したという五所川原市と同じ新市であり、人口四万前後と、やや少なく、市の性格も半農半商の田園都市的なた。遠藤組合長は必死に有畜農業を指導し戸別訪問をす。本庄農協でもつと注意を。本庄農協でもつと注意を。本庄農協でもつと注意を。

二と云われる勢力の強い組合であつたが農協不足時の昭和二十三年には百五十万円の赤字があつたとされ、しかも水田二百町歩に畑が百町歩という小さな農協で、その赤字が悩みのタネだつたと云われていた。そこで初代組合長遠藤隆之助氏が消滅したのが養豚であり、直ちに神奈川県より一頭八千円の成豚を二十頭購入して、ここに養豚事業に着手したのであります。そして同農協もつと力をいれ、私も主眼をおいて質問をしたのは従来の農協やその他の機関の事業は各切な販売面まで指導しないことであり、これにいかん

人か農民のフトコロをいかに合を通しておこなわれ、これは理想のもとに四百教をひろげても、それに充実にたむのをいれる農家の自覚がまず問題です」と再三くりかえしてました。よやく養豚事業を脱得し、その確立によつて値段の調整もできるかと信じておりました。本庄農協でもつと注意を。本庄農協でもつと注意を。本庄農協でもつと注意を。

五所川原市を中心として三万円を年間産出すれば、純益が三億円あるというのが、行つて畜産法人をつくるのが目的だ」と云つておりましたが、今こそ農家は将来のために自覚し自分で自分の生活を自衛しなければいけぬのだという農民の雄々しい姿をまさにと見せられた思いで隔序した次第でございます。



(写真) 上……右側は親豚からはなされた仔豚を飼育する俵 左側はハム工場の設備
中……ハム工場の設備 この工場の内容はごく簡単で金もかかつかないのが注目される
下……共同飼育場でここでは四百頭の仔豚を養う

年末年始診療日程
市立西北中央病院では年末年始の診療をつぎのようにおこないますのでお知らせいたします。
○年末、年始の診療時間
二十八日(水) 午前中
二十九日(木) 午前中
三十日(金) 午前中
三十一日(土) 全休
一月一日(日) 全休
二月一日(月) 午前中
三日(火) 全休
四日からは平常通り診療します。

新しい道路交通法とは

歩行者の保護を強化

正しい運転でも注意

最近自動車の激増と自動車の大型化などで交通事情は大混乱し、このため交通事故は近年にない増加を示しています。そこでとくに最近ひどくなってきた道路上の混雑を緩和するために、さる第三十四回国会で「道路交通法」の改正がおこなわれ、十二月二十日から新しい交通規則「道路交通法」が実施されることになりました。では主な改正点をここに解説してみよう。

歩行者の保護

この法律でもっとも強化されたのがこの歩行者の保護です。このため交差点はもとより交差点以外の場所でも歩行者が横断歩道を渡るときは道路の手前一時停止するときは一時停止して歩行者の通行を妨げないよう注意する。また、歩行者の通行を妨げないよう注意する。また、歩行者の通行を妨げないよう注意する。



一時停止して歩行者の通行を妨げないよう注意する

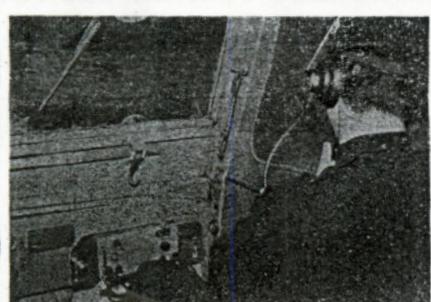
混雑を緩和

この法律の目的とするところは、交通の安全と円滑をはかることである。このためこの法律では、混雑を緩和するために、歩行者の通行を妨げないよう注意する。また、歩行者の通行を妨げないよう注意する。

水道管に防寒装置

水道課 冬に向う家庭に注意

これから寒気が厳しくなる。水道管の凍結や破裂が多くなる。水道管の凍結や破裂が多くなる。水道管の凍結や破裂が多くなる。水道管の凍結や破裂が多くなる。水道管の凍結や破裂が多くなる。



放水は絶対やめてください。放水は絶対やめてください。放水は絶対やめてください。放水は絶対やめてください。放水は絶対やめてください。

八十七戸の入居決る

平和町公営住宅増える

市民生課では、第一種入居者(二十戸)、第二種入居者(二十戸)、第三種入居者(二十戸)の入居が決定した。市民生課では、第一種入居者(二十戸)、第二種入居者(二十戸)、第三種入居者(二十戸)の入居が決定した。

坂本源太郎(五農校)、北川正二(県税務所)、飯島夫(検察庁)、小田川富夫(土木事務所)、斎藤吉夫(リッカーミシン)、荒井岩次郎(大同古物店)、工藤直二郎(大田金銀)、葛西三郎(市役所)、鈴木新三(リッカーミシン)、倉光幸夫(敷島分館)、三上秋雄(市役所)、木村清(月刊貸付を中止して洗濯物代務(農業共済組合)、山代務(土木事務所)、細川政雄(監督署)、秋田昭三(三好中学校)、小山内(谷島分館)、境良たけお(谷島分館)、古川政美(税務署)、長内修(鳥口木工)、天内修(東長政分館)、石井仁八郎(石井分館)、安田勝之(東また流行のげいし機械製作工場)、小田桐忠夫(田器具類(時計、カメラ等)北電力)、野呂清治(弘は入買出来なくなりました)

市公益質屋再開 四力月振りに貸付 市税完納運動 市税完納運動 市税完納運動

市消防署で無線電話を設置しました。市消防署では、このほど火災波管理用の検査も合格、火災発生の際の連絡用として沖波発生にそなえて特設して無線電話を設置しました。

市税完納運動 市税完納運動 市税完納運動。市税完納運動は、市民の協力を得て、市税の完納を促進するための運動です。

納税標語並ボ スターを募集 市税務課。市税務課では、納税意識の高揚を目的とした納税標語を募集しています。

